

令和6年7月1日



園長 免出 智美

おひさまだより

夏が近づくこの時期。蒸し暑い日が続いていますが、子ども達は毎日、全身で土と水の感触を楽しみ元気いっぱいです。畑やプランターに植えた夏野菜もすくすく育ち、「なすがなってる!」「ピーマンできたよ!」と育った野菜を見つけると大喜びです。早速、収穫し目の前で調理が始まるとわくわくした表情で見つめ、みんなで食べてみると苦手だった野菜も食べることができ野菜の美味しさを味わっています。これから、トウモロコシ、トマト、茄子、ピーマン、スイカと夏野菜の生育と収穫が楽しみです。

7月行事予定

月	日	曜	行事予定
7	1	月	プール開き
	3	水	園庭開放(未就園児)
	5	金	七夕会
	6	土	おひさま広場(離乳食)
	16	火	身体測定(乳児)
	17	水	おひさま広場(夏の遊び) 身体測定(幼児)
	19・20	金・土	お泊り保育(ひかり組)
	23	火	工作教室(そら・ひかり組)
	24	水	清水建設工事見学(ひかり組)
	27	土	同窓会(R5年度卒園児)
	31	水	園庭開放(未就園児)

※変更の場合あり

★お弁当の日: 13日、27日
★8月24日(土) 夏祭り(保護者参加)

お忙しい中、ありがとうございました

どんぐり・たけのこ組 保護者交流会

パワーポイントをつかって園の様子や近藤先生による乳児期の絵本の大切さについて話を聞き、グループで子育てについての話をしました。皆さん、楽しそうに子育てについて話される姿が印象的でした。最後は、どんぐりたけのこ組ルームツアーがあり子どもたちと普段の遊びを親子で楽しみました。

◎アンケートより一部紹介

- ・普段の様子が聞けたり見れたりして楽しい時間でした。保護者の方とも少し距離が縮んだ気がして嬉しかったです。
- ・部屋が安全かつ楽しめる工夫をしてくださっていることが確認でき安心できました。



～子どもの育ちにもたらす水あそび～

水の面白さに夢中になって遊ぶ中で、子ども達はいろいろな動きを経験し、自分の中にある様々な感覚を働かせています。触覚・聴覚・視覚などの五感、平衡感覚や固有受容覚、人との距離感…そういった感覚が薄皮のように統合されていって、運動する力が研ぎ澄まされ総合的な学びに繋がります

たらいの中で水につかっているだけでもたくさんのかんじがしている。

水の中がゆらゆら揺られて見える「視覚」



水の中で浮く感覚「固有受容覚」

水の冷たさを感じる「触覚」

水から押される感覚「触覚」
「固有受容覚」

「たらいの中にいる」という感覚
「固有受容覚」



水の中だからこそその面白さを味わって「これやってみよう!」という意欲がわいたり、自分の体の新しい動かし方を発見して運動有能感をもったりする

ダイナミックな水遊びの面白さを友達と味わい、科学的な発見に繋がることもある。



【引用・参考文献】「ほいくあっぴ」 帝塚山大学教育学部子ども教育学科教授 岡澤哲子



ドキュメンテーションから抜粋（各クラス1枚）

子どもは、遊びからたくさんのことを学んでいます。「何を感じ」「気づき」「理解できる」ようになるのか、「試す」「工夫する」「表現する」など学びに向かう力がドキュメンテーションに毎日記録されています。子どもたちの豊かな感性やおもしろい発想、友だちへの思いやり、協同する力をドキュメンテーションからみつけてください。

どんぐり（0歳児）・たけのこ（1歳児）

「着替えから遊びへ」

日々の過ごしの中で、ひとつひとつ着替える手順を言葉にして一緒にやっていくことで着替えの流れを覚えて遊びの中でも同じようにやってみようとする姿が見られます。「やってみたい」「できた」といふ気持ちがますます高まっています



りす（2歳児） 「念願のエイパックス！」

乗り物を見に行くことを伝えると、「行きたい！」と気持ちが膨らんでいました。保育室に掲示してある写真を見ながら「エイパックスと消防車と救急車と…」と見たい乗り物がたくさん！写真を持って行き、実際に行き交う車と写真を見比べて同じのを見つけるのを楽しみました。念願のエイパックスを見ることができ、「また行きたいな」と散歩を楽しみにしています。

うさぎ（3歳児） 「かたつむりとナメクジの違い」

雨上がりの園庭ならではの虫たちに出会いました。保育者が「ナメクジとカタツムリ似てるね？」と聞くと、言葉で違いや知っていることを伝えています。保育者の問いかけから、より違いを見つけようと興味をもちじっくりと観察したり、知っていることを年下の友だちにも教えてあげようと関わっています。



そら（4歳児） 「できるようになったんよ！」

ひかり組やお友達が雲梯をする姿を見て、“やってみようかな” “できるようになりたいな”と、少しずつ自分のペースで練習を積んできた子たちもいます。ぶら下がって身体を揺らすことから始まり、「ちょっとできた」「3つ進めた！」と何度も練習の成果を見せてくれていました。“できた！”を他人に認められることで自信や意欲がうまれ、自己肯定感に繋がっていきます。

ひかり(5歳児) 「お手紙を書こう！」

ふくしま保育園との交流後、「おてがみ、かきたい」と手紙を書くことになりました。ふくしま保育園に行った時のことを思い出しながら、自分の思いを言葉で表して文字や絵を手紙に書いていました。自分のやりたい！から文字に触れる体験もしている子どもたちです。「かきたい」という思いが自らの学びに繋がっています。

